

令和4年(2022年)●月●日

(あて先)宝塚市長

申請者 所在地
 団体名 △△△会
 代表者名 □□ □□ (※)
 (※)本人(代表者)が自署しない場合は、記名押印してください。
 連絡先

令和4年度宝塚市きずなづくり推進事業補助金交付申請書

宝塚市きずなづくり推進事業補助金に係る事業を実施したいので、宝塚市きずなづくり推進事業補助金交付要綱第7条の規定により、補助金の交付を申請します。

- 1 事業種別 () 行政提案型事業 (○) 自由提案型事業
 ※ () に○印を記入してください。

2 補助事業名

_____ みんなで学ぶ○○セミナー _____

3 事業収支予算及び補助金交付申請額

(1) 事業に要する経費の総合計	_____ 54,260 _____	円	※1
(2) 補助対象経費の合計	_____ 51,260 _____	円	※2
(3) 補助金交付申請額	_____ 25,000 _____	円	※3

※1 事業収支予算書(様式第3号)の支出総合計Cの金額を転記してください。

※2 事業収支予算書(様式第3号)の支出Aの金額を転記してください。

※3 事業収支予算書(様式第3号)の収入欄の費目:補助金の金額を転記してください。ただし、千円単位とし、千円未満は切り捨てとします。

4 添付書類

事業計画書	様式第2号	必須
事業収支予算書	様式第3号	必須
団体概要書	様式第4号	必須
定款または会則等、団体の運営に関する規程	様式自由	必須
構成員名簿(住所記入)	様式自由	必須
・団体全体の最新の収支決算書及び収支予算書(様式自由) ・他の補助金・助成金等の交付決定通知の写し ・その他事業内容がわかる書類(A4両面1枚まで)	—	あれば添付

5 誓約事項

宝塚市暴力団の排除の推進に関する条例(平成24年条例第6号)第2条第3号に該当しない団体です。

事業計画書

団体名 △△△会

1 事業種別	行政提案型・自由提案型
※行政提案型 事業テーマ	(事業種別が行政提案型事業の場合のみ記入)
2 事業名	みんなで学ぶ〇〇セミナー
3 事業を行おうとした動機・必要性

4 事業を行う目的と期待される効果

.....

5 申請までの検討経過

- 年 ○月 地域での問題解決のため、話し合いを行う。
- 年 ○月 問題解決のため、グループを立ち上げる。
- 年 ○月 問題解決のため、話し合いを繰り返す。
- 年 ○月 活動を立案する。
- 年 ○月 活動に対して、資金不足が判明。
- 年 ○月 市役所のきずなづくり推進事業補助金の申請をする。

6 事業の内容（実施時期、場所、回数、参加予定人員等を具体的に記載してください。）

.....

7 市の担当課との事前協議の経過（事業種別が行政提案型事業の場合のみ記入）

【第1回】〇年〇月〇日 〇〇課へ事前相談。事業内容が行政提案型事業のテーマに沿った事業内容であるか確認を行った。合致するためには、事業内容について、一部見直しが必要である旨、〇〇課から助言を受ける。

【第2回】〇年〇月〇日 第1回協議を踏まえ、〇〇課と協議。事業内容について、テーマに沿った事業内容であることを双方で確認した。今後の申請書提出までのスケジュールについて、確認を行った。

【第3回】〇年〇月〇日 申請書内容について〇〇課と協議。記載内容の不備、補足事項の追記などの指摘や助言を受けた。修正のうえ、再確認を依頼した。

【第4回】〇年〇月〇日 申請内容について、〇〇課の確認が終了した。〇〇課と申請後のスケジュールについての確認や事業内容について再度共有するとともに、「市の担当課との関わり」について、募集要項2ページ3を参照しながら双方で確認を行った。

8 実施する安全対策

(1) 新型コロナウイルス感染症への対策

ア 事業の準備及び実施にあたり、以下の項目を遵守し、万全な対策を講じます。また、入場者数（定員）は、事業実施日現在の国・県・市及び実施する施設等の指針に沿った人数（以下）で実施します。

チェック欄 ↓

感染症対策	3密対策	■ 使用前後及び休憩時に扉や窓を開けて換気を行う。
		■ ソーシャルディスタンス確保のため、入場者数の制限を実施する。
		■ 座席の配列は前後左右を開けた状態にする。
		■ 入退室時には来場者同士の間隔を2m（最低1m）程度確保する。
	体調チェック	■ 発熱または風邪の症状がある方の入場制限を実施する。
		■ 関係者（主催団体等）の体調管理を徹底する。
	感染対策	■ マスク着用を徹底する。
		■ 手指消毒液を設置する。
	感染経路対策	■ 来場者（連絡先等）の把握（来場者名簿の作成等）を行う。
	注意喚起	■ マスクの着用や手指の消毒等、来場者への周知・呼びかけを徹底する。
	その他	■ 新型コロナウイルス感染拡大予防ガイドラインを遵守して事業を実施する。
		■ 使用する施設の感染拡大予防ガイドラインを遵守して事業を実施する。
		■ 感染状況により、事業の延期・中止や事業内容の変更等を検討している。 【検討内容】 例：感染が拡大しており、緊急事態宣言やまん延防止等重点措置が発出されている場合は、オンライン（Zoom）での実施を考 えている。

イ 上記以外に実施する新型コロナウイルス感染症対策は以下のとおりです。

※あれば記載

<p>(ア) 企画段階 例：団体のメンバーでの打ち合わせはなるべくオンラインで行う。</p> <p>(イ) 実施段階</p>
--

(2) 新型コロナウイルス感染症以外の安全対策

事業の準備及び実施にあたり、以下の安全対策を講じます。

例：スタッフの怪我等に備えるため、行事保険に加入する。

例：参加者の個人情報の取り扱いについて、パスワードで保護したうえで PC 内に保管する。

.....

事業収支予算書

団体名 △△△会 行政提案型事業名 みんなで学ぶ〇〇セミナー 自由提案型

収入 (単位:円)

費目	収入内容	積算根拠	金額
自己負担額	団体自主財源		6,760
事業収入	セミナー参加料	500円×15名×3回	22,500
寄附金等			
補助金	きずなづくり推進事業補助金	※	25,000
合 計 (支出総合計Cと同額)			54,260

※行政提案型事業では①の額(50万円を上限)とします。
自由提案型事業では①×1/2の額(20万円を上限)とします。

支出A【補助対象経費】 (単位:円)

費目	支出内容	積算根拠	金額
報償費	講師への謝礼	10,000円×3回	30,000
交通費	講師への交通費	1,000円×3回	3,000
需用費	印刷費	セミナー資料3回分(4円×500枚)	2,000
需用費	講師のお茶	120円×1名×3回	360
需用費	感染症対策用消耗品	消毒液(800円×2本) 講師用フェイスシールド(500円) 飛沫防止用パネル(受付用) (3,300円×1枚)	5,400
使用料及び賃借料	会場借り上げ料	〇〇研修室使用料(3,500円)×3回	10,500
合 計 ①			51,260

支出B【補助対象外経費】 (単位:円)

費目	支出内容	積算根拠	金額
需用費	講師のお弁当	1,000円×3回	3,000
合 計 ②			3,000

支出総合計C(支出A+支出Bの合計) (単位:円)

総 合 計 (①+②)			54,260
-------------	--	--	--------

※費目欄が足りない場合、この様式をコピーして使用しても構いません。

団 体 概 要 書

フリガナ	
団体名	△△△会
代表者名	□□ □□
所在地 (連絡先)	住所 〒 名称・氏名 電話番号 FAX番号 メールアドレス
設立年月日	年 月 日
設立目的
主な活動内容 活動実績
主な活動場所
会員数	合計 人 (市内 人・市外 人)
会費等	年額・月額 円
その他	